



2011年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2010年9月27日

上場会社名 株式会社イオンファンタジー 上場取引所 東
 コード番号 4343 URL <http://www.fantasy.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）土谷 美津子
 問合せ先責任者 （役職名）取締役経理本部本部長 （氏名）井上 義信 （TEL） 043（212）6203
 四半期報告書提出予定日 2010年9月30日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1 2011年2月期第2四半期の業績（2010年2月21日～2010年8月20日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2011年2月期第2四半期	21,164	△7.7	1,030	△30.0	941	△32.8	430	△35.8
2010年2月期第2四半期	22,935	—	1,472	—	1,400	—	670	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2011年2月期第2四半期	23	73	23	70
2010年2月期第2四半期	36	99	36	97

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	％	円	銭
2011年2月期第2四半期	22,306	16,787	75.2	924	94
2010年2月期	20,997	16,891	80.4	931	21

（参考）自己資本 2011年2月期第2四半期 16,765百万円 2010年2月期 16,879百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第 1 四半期末		第 2 四半期末		第 3 四半期末		期 末		合 計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
2010年 2 月期	—		0	00	—		30	00	30	00
2011年 2 月期	—		0	00						
2011年 2 月期（予想）					—		30	00	30	00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 2011年2月期の業績予想（2010年2月21日～2011年2月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
通期	41,702	△4.6	2,600	3.4	2,588	10.1	1,247	10.4	68	80

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、〔添付資料〕P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

（1）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用： 無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（2）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更： 無

② ①以外の変更： 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2011年2月期 第2四半期	18,175,688株	2010年2月期	18,175,688株
2011年2月期 第2四半期	49,635株	2010年2月期	49,502株
2011年2月期 第2四半期	18,126,132株	2010年2月期 第2四半期	18,126,556株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第2四半期累計期間)	6
(第2四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

<営業概況>

当第2四半期累計期間は、既存事業における構造改革を既存店再構築の重要課題と位置づけ、3才から7才を中心としたキッズ対象部門を核に品揃えの見直しと販売力の強化に向け、体感グループ、キッズメダル部門の拡充とともに、子供向けスウィート部門の増台と景品の見直しを進めました。一方、カードゲームについても昨年から引き続き人気カードゲーム、新規カードゲームの積極的な導入を行いました。

また、従来のアミューズメント事業から“創育事業”への事業構造改革の柱として“ファンタジースキッズガーデン”の積極的導入を進め、8月20日現在50店舗まで拡大いたしました。“遊びを通じたお子さまの健全な育成”というコンセプトについてお客さまのご支持をいただき、導入店舗の全体売上の底上げに貢献しております。

海外事業は5月に中国北京の子会社における直営2号店、9月に3号店が開店するとともに、マレーシアのFCは合計17店舗、香港のFCは合計5店舗と順調に拡大しております。このように年間利益の最大化に向けた戦略的な投資を第2四半期累計期間に集中して実施いたしました。

<経営成績>

第1四半期会計期間は、3月度、4月度とも売上・利益で計画を上回って推移いたしましたが、唯一5月度は稀に見る行楽日よりの影響で売上計画から7.2%減となり、そのため5月度の営業利益は計画に対し1億75百万円落ち込み、第1四半期会計期間の営業利益は2億37百万円にとどまりました。

第2四半期会計期間は、落ち込みが続いていたプライズグループにおいて、子供向けの「スウィート部門」の販売力強化等を進めた結果、第2四半期会計期間のプライズグループ売上は計画対比7.3%増に回復いたしました。加えて、第1四半期から取り組んできたキッズメダル等のキッズ売場再構築と“ファンタジースキッズガーデン”導入による既存店売上の底上げにより、売上高は3ヶ月とも計画通りに推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は、211億64百万円（計画比0.4%減・前年同期比7.7%減）と、ほぼ計画通りに着地いたしました。営業利益は10億30百万円（計画比14.1%減・前年同期比30.0%減）、経常利益9億41百万円（計画比20.8%減・前年同期比32.8%減）、四半期純利益4億30百万円（計画比23.3%減・前年同期比35.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、前期末と比べて18億30百万円増加し95億36百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加9億42百万円や、売上預け金の増加5億15百万円であります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、前期末と比べて5億21百万円減少し127億69百万円となりました。主な要因は、新店等の設備投資により有形固定資産が22億74百万円増加したものの、減価償却（23億43百万円）や除売却（2億52百万円）により減少したものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、前期末と比べて14億27百万円増加し54億74百万円となりました。主な要因は新店や活性化投資等の設備投資による設備関係支払手形の増加3億68百万円や、未払法人税等の増加3億89百万円であります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、前期末と比べて14百万円減少し44百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前期末と比べて1億4百万円減少し167億87百万円となりました。主な要因は、配当金5億42百万円の支払いによる減少と、一方で、四半期純利益4億30百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資

金」という。)は、62億95百万円(前年同期比21億95百万円増)となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主要因は、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、33億79百万円(前年同期比4億17百万円増)となりました。その主な内訳は、税引前四半期純利益9億43百万円及び減価償却費24億70百万円の計上による資金の増加と、法人税等の支払2億84百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18億94百万円(前年同期比1億66百万円増)となりました。その主な内訳は、有形固定資産の取得による支出18億84百万円、関係会社(海外子会社)貸付けによる支出90百万円及び敷金及び保証金の差入による支出26百万円であり、新規出店や“ファンタジースキッズガーデン”導入等既存店の活性化を行ったことによる支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、5億42百万円となりました。その主な内訳は、配当金の支払5億42百万円です。

(3) 業績予想に関する定性的情報

2010年4月6日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,295,696	5,353,552
売掛金	3,777	3,073
売上預け金	1,682,504	1,167,051
商品	299,408	291,287
貯蔵品	384,787	357,688
その他	870,627	533,276
流動資産合計	9,536,802	7,705,932
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,064,814	1,147,222
遊戯機械(純額)	6,352,369	6,557,748
その他(純額)	587,824	621,984
有形固定資産合計	8,005,009	8,326,956
無形固定資産		
のれん	1,258,787	1,373,223
その他	31,930	44,755
無形固定資産合計	1,290,718	1,417,979
投資その他の資産		
敷金及び差入保証金	2,186,015	2,229,030
その他	1,287,611	1,317,240
投資その他の資産合計	3,473,627	3,546,271
固定資産合計	12,769,355	13,291,206
資産合計	22,306,157	20,997,139

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月20日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,180,395	930,871
未払費用	1,556,823	1,063,997
未払法人税等	741,417	351,857
賞与引当金	142,161	131,501
役員業績報酬引当金	18,758	28,754
設備関係支払手形	1,344,798	976,150
閉店損失引当金	5,684	11,004
その他	484,520	553,191
流動負債合計	5,474,559	4,047,332
固定負債		
その他	44,460	58,540
固定負債合計	44,460	58,540
負債合計	5,519,019	4,105,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,747,139	1,747,139
資本剰余金	1,720,428	1,720,428
利益剰余金	13,377,645	13,491,242
自己株式	△79,722	△79,587
株主資本合計	16,765,490	16,879,222
新株予約権	21,647	12,044
純資産合計	16,787,138	16,891,267
負債純資産合計	22,306,157	20,997,139

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)
売上高	22,935,834	21,164,153
売上原価	19,870,955	18,909,078
売上総利益	3,064,878	2,255,075
販売費及び一般管理費	1,592,752	1,224,873
営業利益	1,472,126	1,030,202
営業外収益		
受取利息	438	937
機械仕入割戻	14,793	10,360
その他	14,810	23,695
営業外収益合計	30,041	34,993
営業外費用		
支払利息	1,392	—
減価償却費	85,101	34,487
固定資産売却損	—	79,428
その他	15,332	10,257
営業外費用合計	101,826	124,173
経常利益	1,400,342	941,021
特別利益		
役員賞与引当金戻入額	3,302	—
役員業績報酬引当金戻入額	—	451
受取和解金	—	58,420
特別利益合計	3,302	58,871
特別損失		
店舗閉鎖損失	6,623	50,638
閉店損失引当金繰入額	593	5,684
特別損失合計	7,216	56,322
税引前四半期純利益	1,396,429	943,571
法人税、住民税及び事業税	957,586	693,533
法人税等調整額	△231,719	△180,151
法人税等合計	725,866	513,382
四半期純利益	670,562	430,189

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成21年5月21日 至 平成21年8月20日)	当第2四半期会計期間 (自 平成22年5月21日 至 平成22年8月20日)
売上高	11,686,714	10,941,858
売上原価	9,905,598	9,582,607
売上総利益	1,781,116	1,359,251
販売費及び一般管理費	772,737	566,404
営業利益	1,008,379	792,847
営業外収益		
受取利息	236	604
機械仕入割戻	1,055	1,754
その他	5,093	12,749
営業外収益合計	6,385	15,108
営業外費用		
支払利息	369	—
減価償却費	42,550	190
固定資産売却損	—	79,428
その他	6,633	3,847
営業外費用合計	49,552	83,466
経常利益	965,211	724,489
特別損失		
店舗閉鎖損失	—	18,933
閉店損失引当金繰入額	593	5,684
特別損失合計	593	24,617
税引前四半期純利益	964,618	699,871
法人税、住民税及び事業税	607,007	465,244
法人税等調整額	△147,817	△120,973
法人税等合計	459,190	344,271
四半期純利益	505,428	355,600

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成21年2月21日 至 平成21年8月20日)	当第2四半期累計期間 (自 平成22年2月21日 至 平成22年8月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,396,429	943,571
減価償却費	2,918,801	2,470,760
固定資産除売却損益(△は益)	63,929	201,800
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,465	10,659
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,448	—
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	27,656	△9,996
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9,071	—
受取利息	△438	△937
支払利息	1,392	—
受取和解金	—	△58,420
売上債権の増減額(△は増加)	4	△703
売上預け金の増減額(△は増加)	△1,304,286	△515,453
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,835	△35,219
仕入債務の増減額(△は減少)	419,395	249,523
その他	262,125	281,529
小計	3,748,261	3,537,114
預り保証金の増減額(△は減少)	△22,000	—
利息の受取額	206	1,199
利息の支払額	△1,392	—
和解金等の受取額	—	125,727
法人税等の支払額	△762,843	△284,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,962,232	3,379,539
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,719,506	△1,884,561
有形固定資産の売却による収入	18,579	59,788
無形固定資産の取得による支出	△7,590	—
長期前払費用の増加による支出	△22,622	△16,762
敷金及び保証金の差入による支出	△43,620	△26,410
敷金及び保証金の回収による収入	46,661	63,537
関係会社貸付けによる支出	—	△90,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,728,099	△1,894,408
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△411	△135
配当金の支払額	△543,137	△542,851
財務活動によるキャッシュ・フロー	△543,549	△542,987
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	690,582	942,144
現金及び現金同等物の期首残高	3,409,390	5,353,552
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,099,973	6,295,696

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。